

## こころの医療センター キャリアラダー段階別到達目標

	ステップⅠ-A	ステップⅠ-B	ステップⅡ	ステップⅢ	ステップⅣ	ステップⅤ	ステップⅥ		ステップⅦ
	新卒新人	既卒で精神科1年目	概ね2年目から3年目	概ね4年目～6年目	7年目以上	専門・認定看護師及び準ずる者	副師長	師長	部長・次長
到達目標	病院組織の一員としての自覚と職場適応ができる。助言を受けながら、手順・基準に基づいて看護行為ができる。	精神科技術において、助言を受けながら手順・基準に基づいて看護行為ができる。	手順・基準に基づいて看護行為ができる。	部署においてリーダーシップを発揮しながら看護活動を行い、後輩や学生の指導ができる。	看護倫理に基づいた質の高い看護を実践でき、病院内の医療、看護の質の向上に貢献できる活動ができる。	修得した専門知識、技術を発揮し専門分野において病院内外の医療、看護の質の向上と教育ができる。	看護実践のトップリーダーとして現認教育の中心的役割を担う。副師長の役割を認識し、師長の補佐をし、師長とスタッフのパイプ役となる。	病院運営の動向をふまえた行動を起こし、看護単位のマネジメントができる。	看護部内の理念及び目標を達成するために部内の管理者としての責務を果たす。
看護実践	指導を受けながら看護実践が実施できる。		一人で看護実践を実施できる。	問題を分析し、的確な判断で看護実践ができる。	知識を応用し全人的な看護実践を効率的に実施できる。	専門分野における知識と技術を活用し、看護の質向上に貢献できる。	部署の看護体制の運営を円滑に行うために、スタッフの役割行動がとれるよう指導できる。	部署の看護体制の運営を円滑に行うために、人的・物的環境を整えることができる。	組織を活かす看護マネジメントの実践ができる。
教育	指導を受けながら、自己の学習計画が立てられる。		自己の教育課題を発見し、計画に沿って学習することができる。プリセプターとしての役割ができる。	積極的に自己教育活動に取り組むことができる。後輩、学生指導に取り組むことができる。	役割を把握し自己研鑽に取り組む。セクションでの教育の計画、運営を実施できる。	自己研鑽をはかり、専門分野において病院内外での教育が実施できる。	自己を把握し、自己研鑽に取り組む。スタッフ個々にあった関わりができる。	マネジメントを評価して自己研鑽できる。	看護職員のキャリア開発、自己実現を支援するための環境を整えることができる。
研究	看護活動や日常業務において疑問を持つことができる。		共同研究者として看護研究に取り組むことができる。	主任研究者として看護研究に取り組み、発表できる。	研究の指導、サポートができ研究成果を実践に生かすことができる。	研究活動においてコンサルテーションができる。	スタッフの研究活動を支援し研究成果を業務に反映できる。	研究活動が活発になるような職場風土を作ることができる。	研究活動を奨励できるようなマネジメントができる。
管理	チームの一員であることを理解しメンバーシップを認識した行動ができる。運営理念・部署の目標が理解できる。		運営理念が理解でき部署の目標に向けて行動できる。	運営理念に基づいて他部門と協力し運営目標達成のために実践できる。	リーダーシップを発揮してチーム内の業務調整が円れ指導、支援ができる。	専門分野の看護について、実践モデルとされる。専門分野の看護へ進むための動機づけができる。	院内・看護部内の委員会活動で役割が果たせる。師長代行ができる。	質の高い看護実践のできる人材を育成する。病院理念に基づき、経営に参画する。	質の高い看護管理者を育成する。患者満足度の看護が提供できる看護部作りを行う。
態度・対話	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立病院職員としての自覚を持つ。</li> <li>・組織の規律を守る。</li> <li>・看護の倫理綱領を認識し、守ることが出来る。</li> <li>・対象となる人々に対して適切なコミュニケーションと対人関係が築ける。</li> <li>・業務上の報告・連絡・相談が出来る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人に関心を持ち話を聞くことが出来る。</li> <li>・自己表現力を高め、よりよい人間関係を築くことが出来る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己の感情のコントロールができる。</li> <li>・他者の立場を理解しアサーティブな関わりができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メンバーの立場や人間性を尊重し人間関係が調整できる。</li> <li>・他者の立場を尊重しながらアサーティブコミュニケーションがとれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会規範の良いモデルとなり、院内風紀を整えることができる。</li> <li>・受けた報告・連絡・相談を解決し、必要に応じて発信・フィードバックできる。</li> <li>・他者の立場を尊重しながらアサーティブコミュニケーションがとれる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を導き出すために建設的な交渉ができる。</li> <li>・相手を尊重しながら自分の考えを率直にその場に適切な形で表現し、あいての理解・納得を得ることができる。</li> <li>・他部門と調整し、円滑な管理につながるよう支援する。</li> </ul>		